

所在地：鳥取県鳥取市

応募区分：個別経営の部

認 証：JGAP(2019年6月：

面 積：237 m<sup>2</sup>

アイズプラント、クレソン、ベビーリーフ、  
リーフレタス等 14 品目)

構 成 員：31 名

### 取組の紹介

- 同社は、特例子会社※の認定を受け、鳥取市の閉校した小学校施設を利用した植物工場で葉物野菜の栽培を行っている。東京オリンピックパラリンピックの食材としての出荷を目標に 2019 年 6 月に JGAP 認証を取得した。

※ 障害者の雇用の促進等に関する法律第 44 条の規定により、一定の要件を満たした上で厚生労働大臣の認可を受けて、障害者雇用率の算定において親会社の一事業所と見なされる子会社。

- 作業や栽培方法のマニュアルの整備や作業場所毎に写真やイラストによる表示が徹底され、作業員への作業内容の徹底、安全や衛生に対する意識の平準化、意識の向上が図られた。

- 経営者と 5 名のリーダーは、定例でミーティングを実施し、日常の課題の早期解決に努めるとともに、作業員へも毎日の朝礼を通じて周知する体制が整備されている。

- 当初廃棄していた水耕栽培用培養液の有効利用を検討し、土耕栽培に再利用することで、上水道の使用量を従来の半分程度に削減することができた。また、栽培用の光源をエコタイプ LED へ交換したことにより、電気代が前年に比べ 34%削減し、栽培期間の短縮も図ることができた。

- 他の特例子会社や植物工場へも積極的に GAP 認証について情報共有し、そのうち 1 社が GLOBAL G. A. P を取得した。



手洗いマニュアルの掲示



朝礼風景



收穫作業（水耕）

所在地：愛媛県四国中央市

応募区分：個別経営の部

認証：GLOBALG. A. P. (2019年2月：

面積：55.6a

リーフレタス、ほうれん草、水菜、小松菜等

構成員：19名

全13品目)

## 取組の紹介

- 同社は、経営面積の拡大とともに県内を含め、中国地方から関西圏まで、スーパー、飲食店等を中心に取引実績を伸ばしている。今後、従業員にとって魅力ある農業経営を目指すために、労務管理を中心とした社内の管理体制の強化が必要であると認識したため、2018年8月よりGLOBALG. A. P. 認証を活用した経営改善に挑戦し、2019年2月に同認証を是正事項ゼロで取得した。
- 生産工程管理の改善のため、施設内を細分化し、196の生産ラインの情報を社内PCにて管理し、トレーサビリティを確保する仕組みを構築した。また、従業員の焦りによる事故リスクを軽減する目的から、特定の人物に負担がかからないよう、毎日のタスク配分や生産工程の改善事項について従業員と協議している。
- 生産効率の向上と経営改善のため、作業記録は全従業員が閲覧可能とし、作業者同士で点検活動を徹底している。また、廃棄重量を記録することで、正品率や品質面に関する定量的な目標設定ができるようになり、1日の出荷量を重量ベースで平均10%以上向上することができている。



社員一同ハウスにて



作業前後の作業記録作成と  
点検・確認



用具の位置を定めた整理方法

所在地：岡山県総社市

認 証：有機 JAS

おかやま有機無農薬農産物

応募区分：個別経営の部

面 積：10ha

栽培品目：にんじん、米、大麦

構 成 員：6名

## 取組の紹介

- 同社は「魅力ある農業の推進・地域の活性化・美しい里山の復興」を経営理念に掲げ、1998年に法人を設立し有機農業に取り組んでいる。2001年に有機 JAS 認証と、おかやま有機無農薬農産物認定を受けた。
- 栽培面では、農薬や化学肥料を使わない土づくりを中心として、栄養価や味にこだわる栽培を目指しており、こまめに土壌診断を行い、化学的な分析に基づいた土壌改良や適切な団粒構造を維持する土づくりを行っている。その結果、にんじんの収量を向上することができ、また、糖度が高いにんじんの栽培を可能としている。
- 販売面では、地元の青空市場や関西圏への出荷、学校給食へ食材提供を行っており、有機栽培であることや食味が良いことなどから年々需要が増加している。また、栄養価と糖度の高さを強みとして、インターネットを活用した WEB 販売を行うことで、販路拡大に繋げている。
- 県内の農業大学生の先進農家体験留学や有機農業研修授業の受け入れ先として対応しており、また、学校給食へ食材提供を行うなど、地域の有機農業の発展に大きく貢献している。



農業大学生への有機農業授業



外部講師による土壌改良講習会



県内有機農業者への視察対応

所在地：岡山県井原市

認証：有機 JAS

おかやま有機無農薬農産物

応募区分：個別経営の部

面積：67a

栽培品目：キャベツ、トウモロコシ、  
トマト、ブロッコリー、ピーマン等

構成員：2名

## 取組の紹介

- 1996年から有機無農薬栽培の取組を開始し、2001年には有機 JAS 認証を取得している。さらに、岡山県独自の「おかやま有機無農薬農産物」の認証も取得し、実践している。
- 休耕ほ場に生える雑草及び地域内の落ち葉や松葉等を土作り資源として活用し、土作りほ場と栽培ほ場とを計画的にローテーションすることで、連作障害の軽減や省力的な土作りにつなげている。また、育苗において、堆肥や有機物が発酵する際に生じる熱を利用した「踏み込み温床」を毎年更新利用し、環境負荷軽減に努めている。
- 31年前から近隣の百貨店において、独自の販売スペースを確保し、おかやま有機無農薬農産物や加工品の販売を行っている。百貨店の従業員と積極的に意見交換をすることで、消費者の需要動向をつかみ、効率的な栽培管理につなげている。
- 店頭では、自ら消費者に「おかやま有機無農薬農産物」の制度や、栽培方法について直接情報提供を行うことで、消費者に有機農業に関する理解を深める一助となっている。また、生産者の顔の見える農業を実現することで、販売先及び消費者との信頼を築き上げ、リピーターを獲得している。



踏み込み温床作成



百貨店青果売り場での直接販売



地域資源を活用した加工品の販売

# 田村 俊和

有機農業・環境  
保全型農業部門

所在地：愛媛県松山市  
認証：有機 JAS  
応募区分：個別経営の部

面積：2.1ha  
栽培品目：かんきつ(温州ミカン、いよかん、レモン、愛媛果試第 28 号等)  
構成員：2名

## 取組の紹介

- 松山市の島しょ部「中島」で、平成2年頃からかんきつの有機栽培に取り組む。有機 JAS 規格が制定される前の平成10年に有機栽培の国際的な認証である FV0 を取得し、その後、日本で有機 JAS 規格が制定された平成13年に認証を取得した。
- 従来摘果により廃棄していた未熟果を「媛プチ柑」として提供し、東京で活躍する一流シェフにレシピとして活用されるようになり、新たな販売先を創出した。
- 有機農業のほか、20年前から島内でイノシシによる被害が深刻になっていることから、狩猟免許(わな猟)を取得し中島地区イノシシ被害防止対策連絡協議会の主要メンバーとして活躍している。
- 地域の後継者育成にも取組み、共同で環境保全型直接支払にも取り組んでいる。また、島外の生産者らと技術等の情報交換を積極的に行うなど人との交流を大切にしている。
- 今後は、単収を上げて生産量を拡大するとともに、消費者や実需者ニーズに合った販売を目指し、新たな有機栽培農家の育成に尽力することを期待している。



首都圏のシェフに普通伊予柑を紹介



年間3回のイノシシー斉ワナ掛け



生産者仲間と栽培技術について学ぶ